

都立の大学を考える都民の会 総会 活動方針の提起(案)

以上の活動報告を踏まえて、「都民の会」の今後の活動方針について次のように提案します。

1) 中長期的な活動について

会の基本的な活動の方向性について

私たち「都民の会」は、「私たちの求める大学」として引き続き次の5点の要求項目を掲げ、学内外との連携を取りながら、活動を行っていきます。

学生・院生・教職員の意思を踏まえた大学づくりを進めること
父母・都民に正確な情報を公開し、開かれた大学づくりを進めること
都立4大学がこれまでつちかってきた研究と教育の蓄積を大切にすること
働く若者や社会人、障害者の学ぶ機会を広げること
児童虐待・環境悪化・長期不況など、都民が抱える問題に取り組み大学にすること

特に様々な懸念が指摘されている都立の大学の「法人化」については、引き続き事態の推移を注視し、必要な問題提起を行います。また現在の都政の下で困難に直面する様々な個人・団体との連携を重視した取り組みを行います。

行動提起

以上の点から、私たちは「都民の会」の活動として以下の5つの柱を提案します。

- (1) 都民版「都民カレッジ」(仮称)
- (2) 都民版大学白書づくり
- (3) 日常的な「情報発信」・「情報公開」への取り組み
- (4) 学内での教育研究条件の保護・保障のための取り組みへの支援
- (5) 都政革新のための教育・福祉・医療・労働を横断したネットワークの形成

運営上・組織上の課題の改善

活動の継続・発展のために、組織・運営の見直しを行います。具体的には事務局の交代や新たな担い手の拡大、世話人会の拡大など、担い手を広げていく取り組みを進めます。また安定した財政基盤の確立のために、「会費制の導入」など検討します。また年度末の3月にもう一度臨時の総会を開き、規約など組織上の詳細の確定を行います。

2) 当面の活動について(04.11~05.3)

今年度末までの都民の会の活動について、次のことを提案します。

- 在学生・院生・教職員の研究教育条件の保障のための取り組み
- 都立の大学の「法人化」をめぐる問題について
- 規約・趣意書、その他組織上の体裁の整備について

以上